

2-2 環境項目

2-2-1 大気汚染

設置予定地周辺における大気汚染常時監視測定局は、一般環境大気測定局（一般局）の立川市泉町測定局が設置されている。

立川市泉町測定局の位置は図 2-2-1 に、測定項目は二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント及び微小粒子状物質である。



凡例



：計画地



●：一般環境大気測定局 立川市泉町測定局

——：市界



1:25,000

0 250 500 1000m

図 2-2-1

大気測定局位置図

(1) 二酸化窒素 (NO₂)

平成 28 年度の二酸化窒素の調査結果は表 2-2-1 に、過去 5 年間(平成 24 年度から平成 28 年度まで)の経年変化は表 2-2-2 示すとおりである。

平成 28 年度における二酸化窒素の日平均値の年間 98%値は、0.026ppm となっており、環境基準を達成している。また、経年変化は横ばい傾向となっている。

表 2-2-1 二酸化窒素の調査結果(平成 28 年度)

測定局		年平均値(ppm)	日平均値の 年間 98%値(ppm)	環境基準 達成状況
区分	名称			
一般局	立川市泉町	0.013	0.026	達成

注1) 環境基準: 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること。

注2) 環境基準の達成状況は、長期的評価により判断する。長期的評価は、1日平均値の年間98%値を環境基準と比較して評価を行う。1日平均値の年間98%値とは、1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、低いほうから数えて98%目にあたる値である。

出典:「大気汚染測定結果」(平成28年度 東京都環境局)

表 2-2-2 二酸化窒素の経年変化(平成 24 年度～平成 28 年度)

測定局		年平均値(ppm)				
区分	名称	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
一般局	立川市泉町	0.015	0.015	0.015	0.014	0.013

出典:「大気汚染測定結果」(平成24年度～平成28年度 東京都環境局)

(2) 浮遊粒子状物質 (SPM)

平成 28 年度の浮遊粒子状物質の調査結果は表 2-2-3 に、過去 5 年間(平成 24 年度から平成 28 年度まで)の経年変化は表 2-2-4 に示すとおりである。

平成 28 年度における浮遊粒子状物質の日平均値の年間 2%除外値は、0.036mg/m³ となっており、環境基準を達成している。また、経年変化は横ばい傾向となっている。

表 2-2-3 浮遊粒子状物質の調査結果(平成 28 年度)

測定局		年平均値 (mg/m ³)	日平均値の年間 2%除外値(mg/m ³)	環境基準 達成状況
区分	名称			
一般局	立川市泉町	0.015	0.036	達成

注1) 環境基準: 1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。

注2) 環境基準の達成状況は、長期的評価により判断する。長期的評価は、1日平均値の年間2%除外値を環境基準と比較して評価を行う。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合には非達成と評価する。1日平均値の2%除外値とは、1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高いほうから数えて2%の範囲にある測定値を除外した後の最高値である。

出典:「大気汚染測定結果」(平成28年度 東京都環境局)

表 2-2-4 浮遊粒子状物質の経年変化(平成 24 年度～平成 28 年度)

測定局		年平均値(mg/m ³)				
区分	名称	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
一般局	立川市泉町	0.020	0.022	0.019	0.017	0.015

出典:「大気汚染測定結果」(平成24年度～平成28年度 東京都環境局)

(3) 光化学オキシダント (Ox)

平成 28 年度の光化学オキシダントの調査結果は表 2-2-5 に、過去 5 年間(平成 24 年度から平成 28 年度まで)の経年変化は表 2-2-6 に示すとおりである。

平成 28 年度における光化学オキシダントの昼間の 1 時間値の最高値は、0.031ppm であり、環境基準の達成状況は、非達成となっている。また、経年変化は横ばい傾向となっている。

表 2-2-5 光化学オキシダントの調査結果(平成 28 年度)

測定局		年平均値 (ppm)	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を 超えた日数と時間数		昼間の 1 時間値の 最高値(ppm)	環境基準 達成状況
区分	名称		(日)	(時間)		
一般局	立川市泉町	0.031	66	307	0.109	非達成

注1)環境基準:1時間値が0.06ppm以下であること。

注2)環境基準の達成状況は、年間の昼間(5時～20時)の1時間値を環境基準と比較して評価を行う。ただし、1年間で昼間(5時～20時)の1時間値が1回でも環境基準を超えた場合には、非達成と評価する。

出典:「大気汚染測定結果」(平成28年度 東京都環境局)

表 2-2-6 光化学オキシダントの経年変化(平成 24 年度～平成 28 年度)

測定局		年平均値(ppm)				
区分	名称	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
一般局	立川市泉町	0.032	0.033	0.033	0.031	0.031

出典:「大気汚染測定結果」(平成24年度～平成28年度 東京都環境局)

(4) 微小粒子状物質 (PM2.5)

平成 28 年度の微小粒子状物質の調査結果は表 2-2-7 に、過去 5 年間(平成 24 年度から平成 28 年度まで)の経年変化は表 2-2-8 に示すとおりである。

平成 28 年度における、微小粒子状物質の日平均値の年間 98%値は、 $27.2 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、環境基準を達成している。また、経年変化は横ばい傾向となっている。

表 2-2-7 微小粒子状物質の調査結果(平成 28 年度)

測定局		年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	日平均値の年間 98%値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	環境基準 達成状況
区分	名称			
一般局	立川市泉町	11.4	27.2	達成

注 1)環境基準:1年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

注2)環境基準の達成状況は、長期的評価として測定結果の年平均値について評価を行うものとする。短期基準に対応した環境基準達成状況は、短期基準が健康リスクの上昇や統計学的な安定性を考慮して年間 98%値を超える高濃度領域の濃度出現を減少させるために設定されることを踏まえ、長期的評価としての測定結果の年間 98%値を日平均値の代表値として選択し、評価を行うものとする。測定局における測定結果(1年平均値及び年間 98%値)を踏まえた環境基準達成状況については、長期基準及び短期基準の達成若しくは非達成の評価を各々行い、その上で両者の基準を達成することによって評価するものとする。

出典:「大気汚染測定結果」(平成 28 年度 東京都環境局)

表 2-2-8 微小粒子状物質の経年変化(平成 24 年度～平成 28 年度)

測定局		年平均値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)				
区分	名称	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
一般局	立川市泉町	12.2	14.1	14.4	13.0	11.4

出典:「大気汚染測定結果」(平成 24 年度～平成 28 年度 東京都環境局)

2-2-2 悪臭

設置予定地及びその周辺において悪臭調査は実施されていない。

2-2-3 騒音・振動

設置予定地及びその周辺の道路交通騒音・振動調査は立川市内2ヶ所で行われている。
調査地点は図 2-2-2 に、調査結果は表 2-2-9 に示すとおりである。

騒音の調査結果は、昼間及び夜間において騒音の環境基準を超えている地点が1ヶ所であった。振動の調査結果は、全ての地点で要請限度を下回っていた。

表2-2-9 道路交通騒音調査結果

調査地点	測定 年月	用途地域	等価騒音レベル L_{Aeq} (dB)				振動レベル L_{10} (dB)			
			調査結果		環境基準		調査結果		要請限度	
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
西砂学習館前 (立川市西砂町6-12-10)	H27.10	第二種中 高層住居 専用地域	71	69	70	65	34	44	65	60
一番一公園前 (立川市一番町1-40)	H27.11		64	62			33	39		

注1) 昼夜の区分は次のとおりとする。

騒音： 昼間：6:00～22:00 夜間：22:00～6:00

振動： 昼間：8:00～19:00 夜間：19:00～8:00

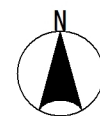
注2) 環境基準は、幹線交通を担う道路に近接する空間における特例値とする。また、要請限度は、振動規制法に基づく第一種区域とする。

注3) 網掛け数値は基準超過を示す。

出典：「たちかわし環境ブック2016」（平成29年3月 東京都環境局）



- 凡例
-  : 計画地
 -  : 主要地方道
 -  : 一般都道
 -  : 市界
 -  : 調査地点



1:25,000

0 250 500 1000 m

図 2-2-2
騒音・振動調査地点